



二小だより

No.6(夏休み号)

令和8年7月17日

武蔵野市立第二小学校

この夏で「本物」を味わう

研究主任

サッカーワールドカップ北中米大会における日本代表の活躍に、日本中が大きく盛り上がりました。サッカーに興味がなかった人の中にも、テレビ中継や公式動画配信を視聴した人もいたのではないのでしょうか。SNS を見てみますと、「代表選手が所属するチームの試合を現地で見たい」「Jリーグ（日本のプロサッカーリーグ）を観戦しに行ってみたい」といった反応がありました。きっと、世界のトップ選手たちの熱い試合を見て、心が動かされた人がたくさんいたのでしょう。

このように、一流のプレーや熱気、真剣勝負といった「本物」に触れることは、私たちの心を大きく揺さぶり、「自分もやってみたい」「もっと知りたい」という主体的なエネルギーを生み出します。

この夏休みはぜひ、机の上を飛び出し、五感をフルに使う「本物」の学びを子どもたちに経験してほしいと思います。「本物」と言っても、特別な旅行や高価な体験である必要はありません。

- ・自分の目で、近所の虫をじっくり観察する。
- ・自分の手で、家族のために料理を作って火や包丁の扱いの難しさを知る（安全配慮の上で）。
- ・地域のお祭りに参加し、太鼓の音を肌で感じる。

これらはすべて、教科書や学習塾のテキストを読むだけでは得られない、五感を通した「本物」の味わいです。時には失敗したり、思い通りにいかなかったりすることもあるかもしれませんが。しかし、その試行錯誤こそが、子どもたちの生きる力、本物の知恵となっていくます。

長い夏休み、子どもたちがそれぞれに「本物」と出会い、一回りたくましくなった姿で2学期に登校してくることを、教職員一同、楽しみにしています。

なかよし給食 特別活動班

7月10日（金）全校で「なかよし給食」を行いました。異学年でグループを作り、一緒に食事をする中で、会話が生まれて交流を深めることができました。さらにマナーや思いやりについて考えるよい機会にもなりました。

保護者の皆様には、お弁当をいれる袋の準備等、ご協力ありがとうございました。